



TITLE:

經度緯度觀測の要求に應ず

AUTHOR(S):

CITATION:

經度緯度觀測の要求に應ず. 天界 1934, 14(161): 411-411

ISSUE DATE:

1934-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/166877>

RIGHT:

や Telescope だつて、元々其れ位の意味を以つて此の世に生れ出たのであるのだから、決して自分は上記の純日本語を以つて、冒瀆とは思はない。

Sextant 星座を「六分儀」と譯し、同様に **Octant** を「八分儀」と譯するのは誠に尤もな話で、吾人も不賛成ではない。只、しかし、事實上、Sextant が何物であるかを知つてゐるやうな人たちは、多くは船乗りか、又は少くとも多少の横文字を解する人なのだから、わざわざ「六分儀」などとゴツ々々した漢字譯を用ゐないで、いきなり「セキスタント」と言つて、少しも差支へなく通用するのであるから、例へば spectrum や type を必ずしも分光帯や型式として漢字化しないでも、單にスペクトル、タイプ等で既に日本語として取り扱はれる如く、「セキスタント」のまゝでも良からうと思ふ。Octant だつて、「オクタント」で良いのだらうし、**Reticulum** も「レチクル」で良いやうに思はれる。(續く)

經度緯度觀測の要求に應ず

花山天文臺では昨年來破損してゐた天文經緯儀の水準器が新しく獨逸から到着したので再び此の優秀機が觀測界に活躍することゝなつた機會を利用し、經緯度出張觀測委員會といふものが組織された。これは近年天文知識の普及と共に各地に於て經度緯度の精密な觀測を天文學的に實行決定してもらいたいと云ふ要求があるのに對し花山天文臺では公務に差支へない限り臺員が出張して此の需に應じる企である。機械は主として上記の經緯儀が用ひられ經緯度共に 0.1 秒内外まで精確に決定される筈である。天文に興味を持つ各個人、學校、天文臺、その他研究所或は諸團體等にして其地の精密な經緯度決定を要求する方々は遠慮なく花山天文臺長に書面で申込れたい。觀測は晴夜少なくとも三夜を要し、費用は觀測者(最少限度二人)の往復旅費、滞在費その他の必要額を觀測要求者に於て支辨せられたい。〔花山急報第90號より〕